

島根原子力発電所 放射性廃棄物及び使用済燃料の管理状況
(平成 29 年 5 月)

1. 放射性気体廃棄物

単位: Bq

		放射性希ガス	放射性よう素 (¹³¹ I)
原子炉施設合計		※1 ND	※2 ND
号機別 内訳	1号機	※1 ND	※2 ND
	2号機	※1 ND	※2 ND
年間放出管理目標値		4. 0 × 10 ¹⁴	2. 2 × 10 ¹⁰
サイトバンカ建物		—	※2 ND

放射性気体廃棄物のうちトリチウム、全粒子状物質の管理状況（平成29年1月～3月）
については別紙のとおり

※1 ND : 検出限界値 約 2×10^{-2} Bq / cm³以下

※2 ND : 検出限界値 約 7×10^{-9} Bq / cm³以下

2. 放射性液体廃棄物

単位: Bq

		トリチウムを除く	トリチウム	トリチウム (年度積算値)
原子炉施設合計		※3 ND	1. 4 × 10 ⁹	3. 1 × 10 ⁹
放水口 別内訳	1号放水路	※3 ND	1. 4 × 10 ⁹	3. 1 × 10 ⁹
	2号放水路	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
年間放出管理目標値		4. 9 × 10 ¹⁰	—	※4 4. 9 × 10 ¹²

※3 ND : 検出限界値 約 2×10^{-2} Bq / cm³以下 (⁶⁰Co 代表)

※4 年間放出管理の基準値を示す。

3. 放射性固体廃棄物

ドラム缶発生量 (本)	211
他の種類の発生量 (本相当)	0
ドラム缶保管量 (本)	※5 31, 766
他の種類の保管量 (本相当)	※6 1, 800
焼却灰発生量 (本)	0

※5 当月中焼却量 (24本)、ドラム缶減容処理量 (49本) 及び低レベル放射性廃棄物埋設センター搬出量 (0本) を差し引いた数値。前月保管量 (31, 628本)

※6 当月中雑物焼却量 (0本相当) 及び雑物減容処理量 (0本相当) を差し引いた数値。
前月保管量 (1, 800本)

4. 使用済燃料等の保管状況

	1号燃料プール	2号燃料プール	サイトバンカ貯蔵プール
使用済燃料 (本)	722	1, 956	—
制御棒 (本)	29	32	224
チャンネルボックス (本)	722	1, 956	1, 582
ポイズンカーテン (本)	13	0	161
中性子検出器 (本)	42	47	378
その他 (m ³)	0	0	56

以上

島根原子力発電所 放射性廃棄物及び使用済燃料の管理状況
(平成29年1月～3月)

1. 放射性気体廃棄物

(単位: B q)

		トリチウム			全粒子状物質 (1月～3月合計値)		
		1月	2月	3月	γ線放出核種	$^{89}\text{Sr}, ^{90}\text{Sr}$	全α放射能
原子炉施設合計*4		2.6×10^9	1.9×10^9	2.5×10^9	*1 ND	*2 ND	*3 ND
号機別 内訳	1号機	9.2×10^8	5.0×10^8	1.0×10^9	*1 ND	*2 ND	*3 ND
	2号機	1.7×10^9	1.4×10^9	1.5×10^9	*1 ND	*2 ND	*3 ND
年間放出管理目標値		—		—			
サイトバーン建物		2.3×10^8	1.4×10^8	1.4×10^8	*1 ND	*2 ND	*3 ND

*1 ND: 検出限界値 約 $4 \times 10^{-9} \text{ Bq} / \text{cm}^3$ 以下 (^{60}Co 代表)*2 ND: 検出限界値 約 $4 \times 10^{-10} \text{ Bq} / \text{cm}^3$ 以下 (^{90}Sr 代表)*3 ND: 検出限界値 約 $4 \times 10^{-10} \text{ Bq} / \text{cm}^3$ 以下

*4 : 原子炉施設合計値は、端数処理の関係で一致しない場合がある。